

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	患者安全推進 (P S A) 事業			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成14年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	総務課 医療安全推進室		室長：平子 哲夫		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療安全について医療関係者の意識向上させるとともに、患者の医療への参加意識を高めること。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	毎年11月に実施される医療安全推進週間の普及啓発を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	2	5	5	4	0		
	執行額	0.7	1	1					
執行率 (%)	35%	20%	20%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	医療機関の安全管理担当者を対象とした、医療安全に関するワークショップを開催する。	医療機関の安全管理担当者を対象とした、医療安全に関するワークショップ参加者数 ※27年度は集計中	成果実績	人	4,499	4,138	集計中	-	-
			目標値	人	5,000	5,000	5,000	-	5,000
			達成度	%	90	83	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	事業の後援団体数 (ポスターの配布先数)	活動実績	か所	101	101	101	-		
		当初見込み	か所	101	101	101	101		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	予算執行額 / 事業の後援団体数	単位当たりコスト	円/か所	6,396	10,149	8,782	8,782		
		計算式	x/y		676千円 /101か所	1,025千円 /101か所	887千円 /101か所	887千円 /101か所	
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.2							
	職員旅費	0.8							
	庁費	3							
	計	4	0						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療安全の向上のため医療関係者の意識を向上させることは、広く国民のニーズがある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療安全を推進するため、国として実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療安全の向上を目的としており、医療安全確保という政策体系の中において優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-			
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	昨年同様、ポスター配布をE-mailによる電子媒体の配布にするなど削減に努めており、水準は妥当なものである。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に照らして真に必要なものに限定されている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	活動実績は 割程度で推移しており、おおむね目標通りとなっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込どおり推移している。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は医療機関において掲示されるなど、広く活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	引き続き各都道府県及び医療関係団体の後援を受け、また多くの後援団体の所管する機関にポスターを掲出することで、広く国民や医療従事者に対して医療安全週間の意義を周知することに努めた。一方、医療安全の向上のため、各地方厚生局において、医療機関の安全管理担当者に対するワークショップの参加者のさらなる増加が望まれるため、最新の医療安全に関する情報提供を行うなど、医療安全管理担当者が興味を持つようなプログラムにしてい必要がある。				
	改善の方向性	各地方厚生局が行う医療機関の安全管理担当者を対象とした、医療安全に関するワークショップには多数の参加があり、これまで医療安全の向上に貢献してきているところだが、最新の医療安全に関する情報提供を行うなど、プログラムの充実を図り、より一層の医療安全の向上に貢献する必要がある。				
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	113,115	平成23年度	94	平成24年度	71	
平成25年度	69	平成26年度	75	平成27年度	81	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
1百万円

[毎年11月に実施される医療安全推進週間の普及啓発
及び安全対策の取組の討議・研究を行うための経費]



A.事務費
1百万円

職員旅費、雑役務費等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

